

令和 6 年 度

歳入歳出決算の概要説明

部 局 名 農 林 水 産 部

農林水産部長説明

農林水産部長の川尾です。

本日、委員の皆様には、令和6年度の決算について御審議をいただきますこと、厚く御礼申し上げます。

それでは、御審議をいただくにあたりまして、農林水産部における決算の概要について、御説明申し上げます。

まず、令和6年度の特別会計を含めた農林水産部全体の歳入予算現額は、162億1,693万8,817円、調定額は、126億8,475万3,480円、収入済額は、126億5,216万1,145円、収入未済額は、3,259万2,335円、です。

収入未済の主なものは、特別会計における各種貸付金に係る償還金の未納によるものです。今後とも未納者への積極的な納付勧奨の実施等により、未納金の回収に努めてまいります。

次に、特別会計を含めた農林水産部全体の歳出予算現額は、314億558万7,499円、支出済額は、245億5,798万2,789円、繰越額は、50億7,597万9,162円、不用額は、17億7,162万5,548円、です。

繰越の主なものは、工法変更や地元調整等に不測の時間を要し、工事が遅延したことにより、やむを得ず繰り越したものです。

不用の主なものは、事業費の確定に伴う補助金の執行残や、特別会計における貸付金の執行残です。今後とも、効率的な予算執行に努めてまいります。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主なものについて御説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の72ページをご覧ください。

農林水産振興課では、「中山間地域等直接支払事業」により、中山間地域等において集落等の単位で取り決めた農用地の維持管理方法により農業生産を継続して行う活動を支援し、県内23市町で9,038ヘクタールの農地を保全しました。

この事業に係る決算額は、8億8,634万3千円です。

研究推進課では、「農林水産業競争力アップ技術開発事業」により、農林水産関係者等から寄せられた研究テーマを外部評価により選定した29課題の研究を9試験場で実施し、高品質生産や省力化、病虫害防除等の技術開発に取り組みました。

この事業に係る決算額は、4,219万1千円です。

次に、「スマート農業技術導入拡大事業」により、ICTやロボット技術等の先端技術を有するメーカー等と連携し、生産現場におけるスマート農業技術の導入を推進しました。

この事業に係る決算額は、404万9千円です。

食品流通課では、「わかやま紀州館運営事業」により、東京交通会館にある首都圏アンテナショップ「わかやま紀州館」が20周年を迎えたことを契機とした大規模リニューアルを行い、首都圏での更なる県産品の魅力発信に取り組みました。

この事業に係る決算額は、6,092万7千円です。

次に、「県産品販路開拓コーディネート事業」により、高級スーパー等への販路拡大を図るとともに、食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の運用等、デジタル社会に対応した県産品の販売促進に取り組みました。

この事業に係る決算額は、2,889万4千円です。

また、「和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業」により、県内事業者と海外バイヤーや国内輸出商社との商談を積極的に支援することで、海外販路開拓に取り組みました。

この事業に係る決算額は、3,775万円です。

農業農村整備課では、「県営中山間総合整備事業」により、中山間地域の7地区において働きやすい農地づくりを推進しました。

この事業に係る決算額は、前年度からの繰越分を含め、9億2,676万6千円です。

次に、「県営ため池等整備事業」により、46地区でため池等の改修や保全対策を実施しました。

この事業に係る決算額は、前年度からの繰越分を含め、26億9,831万4千円です。

果樹園芸課では、「野菜花き産地強化事業」により、災害に強い園芸用ハウスの整備や環境制御システムの導入等を支援しました。

この事業に係る決算額は、1億6,104万7千円です。

次に、「次世代につなぐ果樹産地づくり事業」により、生産力の強化を図るため、戦略品種の早期産地化や園内道の整備、スマート農機の導入等を支援しました。

この事業に係る決算額は、8,553万9千円です。

鳥獣害対策課では、「農作物病虫害対策事業」により、クビアカツヤカミキリ被害樹の伐採・抜根への支援などの防除対策を実施しました。

この事業に係る決算額は、6,928万5千円です。

次に、「農作物鳥獣害防止総合対策事業」により、有害鳥獣の捕獲支援に取り組むとともに、狩猟免許取得や銃猟者の狩猟前訓練への支援等による狩猟者の確保など、総合的な鳥獣害対策を実施しました。

この事業に係る決算額は、3億6,472万円です。

畜産課では、「畜産施設衛生管理強化支援事業」により、畜産業における省力化を図るためのスマート機器の導入、HACCPに対応した食肉処理場や、家畜伝染病の発生防止のための畜舎等の衛生管理強化等を支援しました。

この事業に係る決算額は、2,393万9千円です。

次に、「家畜伝染病予防事業」と「家畜診療及び人工授精事業」により、家畜疾病の検査や予防接種を実施するとともに、豚熱まん延防止のため、野生いのししの検査や経口ワクチンの散布を行いました。

この事業に係る決算額は、合計で7,105万3千円です。

経営支援課では、「農地流動化支援事業」により、担い手農家への農地集積を進めるため、農地中間管理機構と農地活用協議会が連携して実施する農地流動化の取組を支援しました。

この事業に係る決算額は、5,707万3千円です。

次に、「強い経営体育成支援事業」により、新規就農者の雇

用や優良農地の維持を図るため、農業法人及びモデル経営体等の経営発展の取組を支援しました。

この事業に係る決算額は、2,036万2千円です。

また、「農業担い手対策事業」により、就農前の研修や就農初期の所得安定を図るため、243名の新規就農者等へ資金の交付や機械・施設等の導入支援に加え、新たに国の支援対象となっていない親元就農者を支援しました。

この事業に係る決算額は、3億695万3千円です。

林業振興課では、「林道整備事業」により、木材生産コストの低減を図るため、市町村が実施する林道整備の支援などを実施しました。

この事業に係る決算額は、前年度からの繰越分を含め、7億555万3千円です。

次に、「わかやまの森次世代人材確保支援事業」により、都市部でのセミナー開催やSNSを活用した情報発信などに取り組みました。

この事業に係る決算額は、8,828万1千円です。

また、「紀州材需要拡大対策支援事業」により、個人住宅や民間非住宅建築物での紀州材利用を支援しました。

この事業に係る決算額は、9,590万8千円です。

森林整備課では、「森林環境保全整備事業」により、植林、下刈り、間伐等、2,371ヘクタールの森林整備を実施しました。

この事業に係る決算額は、前年度からの繰越分を含め、10億903万5千円です。

次に、「一般治山事業」により、崩壊地や荒廃溪流の復旧工

事をはじめ、^{さんち}山地災害を未然に防止する予防対策や保安林での森林整備等、５０箇所の整備を実施しました。

この事業に係る決算額は、前年度からの繰越分を含め、１６億３，６２４万７千円です。

また、「全国育樹祭開催推進事業」により、第４９回全国育樹祭実行委員会を設立し、基本計画を策定するとともに、広報活動を実施しました。

この事業に係る決算額は、１，１１７万円です。

水産振興課では、「栽培漁業センター運営事業」により、栽培漁業を推進するため、県栽培漁業協会に委託し、稚魚や稚貝^{ちがい}の放流用種苗生産を行いました。

この事業に係る決算額は、６，０７５万１千円です。

次に、「次代につなぐ漁村づくり支援事業」により、新規漁業就業者を育成するための漁業研修や、漁船等の導入に係る初期投資に対して支援を行いました。

この事業に係る決算額は、２，４９１万９千円です。

資源管理課では、「内水面漁業振興対策事業」により、内水面における水産資源の維持・増殖を図るため、各内水面漁業協同組合が実施するあゆ、あまご種苗の放流等を支援しました。

この事業に係る決算額は、７２０万７千円です。

次に、「漁業取締事業」により、本県地先海面^{ちさきかいめん}における漁業秩序の維持を図るため、漁業違反の取締や啓発活動を実施しました。

この事業に係る決算額は、７，２５９万７千円です。

以上で、令和６年度の主な事業等に関する説明を終わらせて

いただきます。

御審議の程、よろしくお願い申し上げます。